

「人文科学とコンピュータ (Sigch)」研究会の 2003 年度～2004 年度の活動を振り返って

桶谷猪久夫^{†1}

Activities of “Humanities and Computer (Sigch)” from 2003 to 2004

IKUO OKETANI^{†1}

私が主査を引き受けたときは、日本全都道府県開催を目指していた「人文科学とコンピュータ研究会」は、未開催の都道府県は8県（三重県、山口県、岩手県、広島県、山梨県、富山県、栃木県、青森県）のみになっていました。1年間に4回の研究会を開催することになっていたのですが、無理をすれば主査の任期中に日本全都道府県開催を果たすことができる状況になっていました。しかし、最後まで残っていた県はなかなか人脈等で開催が難しいと思われる都道府県が残っていたように思われる。そのため、いろんな理由を付けて、以下のように決定して研究会活動を進めました。

2003年度から、地方開催のみでは、常時参加が難しいとの意見もあり、2回は地方開催、2回は関西地方と関東地方での開催に変更した。このような境界領域の研究会としては他に同様の学会もなく、一定の寄与をなしていると考えている。また、発表内容からは人文科学の研究現場で使われているコンテンツにもとづく確実な成果が報告されるようになって来ている。これは本研究会のひとつの目標としてきた人文科学者と情報関連科学者とのコラボレーションによるものである。しかし、データベース構築などが人文科学分野の研究に新たな視点を与え、新しい研究課題・方法を生み出す契機となり、コンピュータ応用技術やインターネット利用技術を新たな段階へ進展させる意義を持ったのかを検討する時期でもあった。

つまりこの期間で、「人文科学とコンピュータ研究会」を残っていた8県の未開催の都道府県の4県で開催した（三重県、山口県、岩手県、広島県）。結果として、4県の未開催の都道府県を残して引き継ぎ、次の主査・幹事・開催校の先生方の努力により、第73回研究会で全国制覇達成を記念して人文科学とコンピュータ研究会特別シンポジウム「今日から始まるじんもんこん(全国制覇達成記念シンポジウム)」が開催された。

もう一つの目標は、Sigch 会員を増加させることでした。主査を引きついたときの会員数は資料の紛失でわかりませ

んが、平成16年10月現在は、338名でした。かなり努力をしましたが、平成17年10月現在で、342名の微増になっています。確かに（目に見える形で）会員数を増やすことはできなかったが、それまでの減少傾向を食い止めたと思っています。また、それまで中心であった情報系の教員・研究者に加えて、人文分野の教員・研究者（特に若手研究者）が参加してきたという特徴がありました。

以下に、2年間の研究会活動報告<2003年度～2004年度>を記載し、報告とさせていただきます。

第58回 人文科学とコンピュータ研究会（2003年5月30日(金)、上野市労働会館、参加者：37名）

(1) 俳句への学際的アプローチ ―クロスメディア俳句研究フォーラムの発足に寄せて―

鈴木雅実 (ATR)、皆川直凡 (鳴門教育大)、吉田 香 (九州工大)、吉岡亮衛 (国教研)、
山本健一 (岐阜市立女子短大)

(2) 遠近法尺度からみた浮世絵の一考察

小沢一雅 (大阪電通大)

(3) n-gram と OCR による定型表現がある古文書の文字の推定

山田奨治 (日文研)、柴山 守 (大阪市大)

(4) Babel 3.7 の日本語対応化

柴崎文一 (総研大)

(5) DBMS 機能を有する e-learning システム

及川昭文 (総研大)、山元啓史 (UCSD)

(6) Z39.50 CIMI プロファイルにもとづく民族学標本資料データベースの試作

山本泰則、中川 隆 (民博)

(7) 小学校教科書の学習者に応じた電子的再構造化について

森下淳也 (神戸大)、○中尾桂子 (神戸学院大)

(8) ビデオ映像による人物間対話解析のための顔領域抽出と顔方向の推定

町野太一、八村広三郎 (立命館大)

(9) 骨格角度情報による日本舞踊動作の解析

^{†1} 大阪国際大学
Osaka International University

黒宮 明 (名古屋工業研究所), 吉村ミツ, 横山清子 (名古屋市大)

(10) レーザースキャナと RTK-GPS を用いた遺跡の 3 次元計測

門林理恵子 (通信総合研究所)

(11) 陶器デザインのための CG シミュレーションシステムと商品開発への応用

野上雅彦, 大谷哲也 (滋賀県工業技術総合センター), 八村広三郎 (立命館大)

第 59 回 人文科学とコンピュータ研究会 (2003 年 7 月 25 日(金), 電気通信大学, 参加者: 37 名)

(1) きもの資料の色彩情報の取得と分析の試み

小林光夫, 小川佳美, 山口岳志 (電通大)

(2) 陶磁研究に役立つ発想支援システムの考察

ー柴田コレクション作品画像の特徴抽出と陶磁研究への応用ー

伏見 緑 (セラミカ), 賀川経夫 (大分県立芸術文化短大), 凍田和美, 西野浩明,

宇津宮孝一(大分大)

(3) S OHO 実態把握のための Web 調査票システムの構築と運用における課題

出水田智子 (会津大)

(4) 富松城歴史博物館における一事例 ー「仮想」博物館の歴史学応用への試みー

後藤真 (大阪市立大)

(5) ナレッジフルアーカイブによる「都市の記憶」の保存と継承に関する研究

権藤千恵, 大野晋, 稲葉光行 (立命館大アート・リサーチセンター)

(6) 産学官連携と人文科学 ー デジタルアーカイブの新展開ー

清水宏一 (財団法人京都高度技術研究所)

(7) しぐさ文化の認知と問題点

平澤洋一 (城西大学女子短期大学部)

(8) 中期インド・アリアン古文獻解析ツールのリナックスへの拡張

逢坂雄美 (仙台電波高専)

第 60 回 人文科学とコンピュータ研究会 (2003 年 10 月 24 日(金), 大谷大学, 参加者: 41 名)

(1) デジタルアーカイブの現状と今後の課題

清水宏一 (京都デジタルアーカイブ研究センター),

治田嘉明 (京都デジタルアーカイブ研究センター)

(2) 新聞コーパスの調査に基づくフランス語人称代名詞の使い分け基準について ー on と l'on を例にー

清水正勝 (東工大), 清水由美子 (武蔵工大), 赤間啓之 (東工大)

(3) 絵画における遠近法表現と 3 次元世界の対応関係

小沢一雅 (大阪電通大)

(4) オブジェクト指向設計法によるチベット文字認識システム ー認識前処理部についてー

布宮千夏子 (山形職能開発専門校), 小島正美 (東北工大), 川添良幸 (東北大)

(5) Web を利用した歴史史料英日全文連携検索システムの開発 ー日米共同研究についてー

桶谷猪久夫 (大阪国際大), Delmer Brown (UCB), 藤本雅彦 (大阪国際大), 大久保裕子 (UCB)

(6) 包摂と分離 ー多漢字文献翻刻の問題ー

池田証寿 (北大)

(7) フェルメール絵画における色の感性的研究

植木雅昭 (甲南大), 細見心一 (甲南大), 水内保宏 (甲南大), 深野淳 (甲南大),

辻田忠弘 (甲南大)

(8) SMIL 技術を用いた伝統芸能コンテンツの制作

小島一成 (立命館大), 八村広三郎 (立命館大), 稲葉光行 (立命館大), 金子貴昭 (立命館大),

赤間亮 (立命館大), 瀬尾訓生 (ネクストソリューション), 長村玄 (ネクストソリューション)

(9) 日本舞踊における身体動作からの感性情報の抽出 ービデオ映像を用いた評価実験ー

阪田真己子 (福島学院短大), 八村広三郎 (立命館大), 丸茂祐佳 (日大)

人文科学とコンピュータシンポジウム 「じんもんこん :-) 2003」

(2003 年 12 月 17 日(水), 18 日(木), 国立歴史民俗博物館, 参加者: 74 名)

オープニング 山下記念賞の授賞式

セッション A-1 情報共有 (座長: 相場徹 (東北大)) 3 本

セッション B-1 モーションキャプチャ (1) (座長: 加藤常員 (大阪電気通信大)) 3 本

セッション A-2 情報資源の活用ー古典から現代までー (座長: 二階堂善弘 (茨城大)) 3 本

セッション B-2 モーションキャプチャ (2) (座長: 山本泰則 (民博)) 2 本

基調講演 デジタルアーカイブによせる夢

宮地正人 (国立歴史民俗博物館・館長)

招待講演 コンピュータ社会におけるアーカイブズ ー Metadata means better data ー

青山英幸 (北海道立文書館・主任文書専門員)

セッション A-3 歴史的な地理情報 (座長: 柴山守 (京都大)) 4 本

セッション B-3 画像の処理と表示 (座長: 八村広三郎 (立命館大)) 3 本

- セッションA-4 考古学への応用 (座長: 及川昭文 (総研大)) 3本
セッションB-4 色彩の分析と保存 (座長: 加茂竜一 (凸版印刷)) 3本
セッションA-5 言語情報 (座長: 中村隆志 (新潟大)) 3本
セッションB-5 データモデルの構築 (座長: 原正一郎 (国文研)) 3本

第61回 人文科学とコンピュータ研究会 (2004年1月23日(金), 山口大学, 参加者: 31名)

- (1) パスカルデータベースシステムIII
藤村丞 (福岡大学総合情報処理センター研究開発室), 白石修二 (福岡大学理学部応用数学科)
- (2) キーワードおよびその連想語による文例の検索に関する考察
中田充 (山口大学教育学部), 葛崎偉 (山口大学教育学部), 吉村誠 (山口大学教育学部)
- (3) N グラムと文字データベースによる漢字仏教文献の分析
師茂樹 (花園大学)
- (4) 記憶を中心とする人生の記録
— ユーザの知識空間の作成による Web ブラウジング履歴の想起支援 —
村上晴美 (大阪市大), 平田高志 (防衛庁)
- (5) フェルメール絵画の透視図法における感性的研究
植木雅昭, 深野淳, 細見心一, 水内保宏, 辻田忠弘 (甲南大学大学院自然科学研究科)
- (6) 人体動作取得ソフトウェアの試作
竹安真也 (近畿大学), 小島一成 (立命館大学アート・リサーチセンター), 長江貞彦 (近畿大学)
- (7) 日本舞踊における基礎動作「オクリ」の基本型の特徴
中村佳史 (立命館大学理工学部情報学科八村研究室), 吉村ミツ (立命館大学 COE 推進機構), 丸茂祐佳 (日本大学芸術学部演劇学科), 八村広三郎 (立命館大学理工学部情報学科)
- (8) 日本舞踊における身体動作の感性情報処理の試み
— motion capture システムを利用した計測と分析 —
阪田真己子 (福島学院短大), 丸茂祐佳 (日本大), 八村広三郎 (立命館大), 小島一成 (立命館大), 吉村ミツ (立命館大)

第62回 人文科学とコンピュータ研究会発表会 (2004年5月28日(金), 龍谷大学, 参加者: 40名)

- (1) 兵庫県多田銀銅山における GIS を用いた遺跡分布データベース
福井亘, 魚津知克 (大手前大), 井上知香 (猪名川町教育委員会)

- (2) 前方後円墳の立体形状 (高さ) の統計的推定
今坂敏宏, 小沢一雅 (大阪電通大)
- (3) Color Transfer 手法による状況適応型検索画像提示
岡田至弘, 村山健二, 松江裕輔, 正司哲郎 (龍谷大)
- (4) E-zine 発行者が見た英語俳句の形式議論
墨岡 学 (松山大), 和田武, 田中喜美代 (愛媛大)
- (5) モーション・キャプチャ・データに基づく能の所作の特徴量抽出
土居裕和, 植田一博 (東京大)
- (6) 文献学はコンピュータに何をたくすべきか
明星聖子 (埼玉大)
- (7) 大字典データベースをつかう一字種と字体の二重コードによる漢字字体データベース作成の試み
高田智和 (北大)
- (8) 文字素性に基づく文字処理
守岡知彦 (京都大), 師茂樹 (花園大)

第63回 人文科学とコンピュータ研究会発表会 (2004年7月30日(金), 岩手大学, 参加者: 36名)

- (1) 日本字筆跡の変動と個性に関する基礎的検討
上田勝彦, 松尾賢一 (奈良高専)
- (2) 文化財における三次元デジタルアーカイブの作成と活用
岡本篤志 (大手前大)
- (3) デジタル化された石器モデルの Web 利用と立体視システム
今野晃市, 千葉史 (岩手大), 徳山喜政 (東京工芸大), 鳥谷浩志 (ラティス・テクノロジー(株))
- (4) 単語の共起データに基づく共観福音書の特異性の分析
三宅真紀, 赤間啓之, 松田裕幸, 中川正宣, 馬越庸恭 (東京工大)
- (5) 単語文法情報に注目したサンスクリット原典閲覧システムの試作
相場徹, 生出恭治 (東北大)
- (6) メーリングリストに見られる最近の英語俳句作法の傾向
墨岡学 (松山大), 和田武, 田中喜美代 (愛媛大)
- (7) フェルメール作「絵画芸術」におけるモチーフの再現
深野淳, 水内保宏, 辻田忠弘 (甲南大)
- (8) Subject World における概念体系表示のための一検討 - BSH4 の表示方式 -
村上晴美, 上田洋 (大阪市大)
- (9) サイバーゼミの効果と期待
槁本信彦 (日本大)

第64回 人文科学とコンピュータ研究会発表会 (2004年11月5日(金), 凸版印刷 印刷博物館, 参加者: 34名)

- (1) 国宝源氏物語絵巻“柏木(二)”における色の変化につ

いての感性的研究

- 細見心一, 深野淳, 坂毛宏彰, 辻田忠弘 (甲南大)
- (2) 超精細画像による資料閲覧の比較機能の検討
安達文夫, 鈴木卓治 (歴博)
- (3) 中期インド・アリアン古聖典解析ツールのジャバによる開発
逢坂雄美 (仙台電波高専)
- (4) 前方後円墳の墳形計測システム (第2報)
上月誉士, 小沢一雅 (大阪電気通信大学大学院)
- (5) 無形民俗文化財「古典万歳」を題材とするデジタル・アーカイブのための Web 活用の試み
北川博美 (中部学院大学短期大学部), 磯本征雄 (岐阜聖徳学園大学大学院)
- (6) XML を利用した英日全文連携検索システムの実現法
桶谷猪久夫 (大阪国際大), Delmer Brown (UCB), 藤本雅彦 (大阪国際大), 大久保祐子 (UCB)
- (7) 漢字ユビキタスを支える文字情報集積体の開発
横山詔一, 笹原宏之 (国立国語研究所), 黒田信二郎 (紀伊國屋書店), 澤田照一郎 (エーアイネット)・
野島伸一 (富士通)・石岡俊明 (リョービイマジクス)

人文科学とコンピュータシンポジウム 「じんもんこ
ん :-) 2004」

- (2004年12月9日(木)、10日(金), 立命館大学, 参加者: 162名)
- セッション1A: 地理情報 (座長: 川口 洋 (帝塚山大)) 3本
- セッション1B: 3次元アーカイブ (座長: 門林 理恵子 (情報通信研究機構)) 3本
- セッション2A: デジタル歴史学 (座長: 馬場 章 (東京大)) 3本
- セッション2B: 色彩の記録と表現 (座長: 加茂 竜一 (凸版印刷 (株))) 3本
- セッション3A: メタデータ (座長: 山本 泰則 (民博)) 2本
- セッション3B: デジタル・アーカイブのインタフェース (座長: 及川 昭文 (総研大)) 2本
- 基調講演 デジタル・アーカイブへの期待
石井 米雄 (人間文化研究機構長)
- 招待講演 InterPARES 2: An Archival Research into the Preservation of Complex Digital Records
Yvette Hackett (Project Archivist, Library and Archives Canada)
- セッション4A: デジタル古典学 (座長: 原 正一郎 (国文研)) 3本
- セッション4B: 人文科学のデータモデル (座長: 桶谷 猪久夫 (大阪国際大)) 3本
- ポスター・デモセッション (座長: 柴山 守(京大)) 5本

- セッション5A: デジタル考古学 (座長: 山田 奨治 (日
文研)) 3本
- セッション5B: モーションデータの記録 (座長: 加藤 常
員 (大阪電気通信大)) 3本
- パネルディスカッション 人文科学にとっての"デジタル
アーカイブ"

第65回 人文科学とコンピュータ研究会 (2005年1月28
日(金), 広島市立大学, 参加者: 33名)

- (1) フェルメール「絵画芸術」に対する分析とその商業デ
ザインへの応用
水内保宏, 深野 淳, 板倉誠也, 辻田忠弘 (甲南大)
- (2) 舞踊動作の解析・評価とその応用
高階克己, 八村広三郎, 吉村ミツ (立命館大)
- (3) 舞踊動作を表す特徴についての検討
吉村ミツ, 八村広三郎 (立命館大), 丸茂祐佳 (日本大)
- (4) 異本解析アルゴリズム Synoptic Patch による計算共観表
の作成
三宅真紀, 赤間啓之, 中川正宣, 馬越庸恭 (東京工大)
- (5) 芸道伝書の発展経過の数理文献学的考察 - Spectronet,
Split decomposition -
矢野 環 (埼玉大)
- (6) 前方後円墳の墳形と築造企画
小沢一雅 (大阪電通大)
- (7) 『御府内沿革図書』のデータベース化とそのアニメー
ション表示
中谷 譲, 黒川隆夫 (京都工繊大)